

「全少」を日本一研究する指導者による提案

ZENSHOに 挑戦しよう！



養正館館長・渡辺貴斗 第30回



男の子と女の子 (その14)

女の子への実際の指導4 (自由に発言できていますか?)

★ママが言ってあげるね

「うちの子、道場の子に意地悪されたんですけど」などのように、頻繁に電話をかけてくるお母さんがいます。「じゃあ、お母さんが先生に言ってあげるね」と、娘の話を半分も聞かないで、つい先走りしてしまうのでしょうか。実は、娘は、どうやって解決するのかも自分で考えてあって、ただお母さんに聞いてもらいたかっただけかもしれませんし、空手の先生に言って欲しくなかったのかもしれない（おおごとなるので）。

友達とうまくいかなかったことを、親が問題解決するのではなく、本人がもがきながら、自分で解決策を探っていく、その過程が子供の成長にとって大事なのではないのでしょうか？

娘が相談してきたら、「どうしたらいいと思う？」と逆に尋ねてみればよいのです。子供同士のトラブルに、母親が出てきて問題解決すれば、問題はなくなります。娘の成長はありません（ただし、陰湿ないじめなどには、大人がすばやく介入する必要があります）。

「イヤだから意地悪はやめて」と自分から相手の子に言えるようになれば、次からは大人の力を借りずに、その場その場で自分で問題解決できるようになるでしょう。

★優しい子？我慢する子？

女の子は、とても優しい子が多いです。それはときには、意地悪されても我慢したり、自分を犠牲にしてでも周りの友達に遠慮してしまうようなところ

があります。これは周りの女の子と共感したいためで、トラブルはできるだけ起こしたくないのです。

しかしながら、自分の主張を我慢してまで、意見が言えなくなってしまうのは問題です。いつも「いい子」を演じるようになり、本音を言えなくなってしまう。しっかりした、優しい子に多いですね。そのような子には、自由に発言できる雰囲気・環境作りが大事です。どんな発言をしても、驚いたり、叱ったりせず、丸ごと受け入れてあげることが大事ですね。

★自由に行動できていますか？

女の子は言われなくても、ママさんが思うようなバカバカしい行動は取りません（取る前に自制できる）。しかしながら、男の子は好奇心の塊なので、気付いた時には体が動いてしまっているし、悪いことをしている自覚もありません。よって、男の子はいくら叱られても罪意識もなく、「ママが何かガミガミ言ってるけど、この話、早く終わらないかな」くらいにしか聞いていません。聞いていると言うより、ママさんの姿を映像として（消音機能付き）、ただ漠然と見ているだけです。

女の子は男の子がしでかすような「ママの好まない行動」は、自前の危機管理能力（ママの表情を読み取れるレーダー付き）を発揮し、事前に察知し自制できます。しかし理想的にも見える女の子のこの行動が、自由に行動できない消極性にもつながってしまいます。

学校でも女の子は、「こんなことをすれば先生に

叱られるのに、男子はバカだなあ」と思って上から目線で見えています。しかしながら、思いついたら動き始めてしまう衝動的とも言える男の子の行動は、どんなことにも挑戦し、とにかくやってみるという積極性があるともいえ、長所としてとらえることもできます。男女どちらが優れているとも言えず、長所は短所の裏返しなのだと考えればそんなにイライラする必要もありません。

★自由に発言できていますか？

「空手行きたくない」、「あの子、嫌い」、「今日のおかずおいしくない」、このような我が子のふがいない発言に日々イライラします。そこで、「何を言っているの、空手は休まず行きなさい」、「嫌いとか、悪口を言ってははいけません」、「お母さんがどれだけ忙しいのに、頑張って家族みんなのために料理したか分かっているの?」のように、いちいち完全否定してしまいます。

大人だって愚痴りたい時はあります。子供だって愚痴りたい時はあるのです。自分の素直な感情を否定されてしまうと、二度と、お母さんの前では本音を言わなくなります。

いったん、娘の話を否定せずに聞いてあげて、なぜそんな気持ちになったのか、こちらから寄り添い、理解してあげることが大事ですね。そのあとで、こ

ちらから「おかず美味しくなかったんだね、ごめんね」と言えば、「でもがんばって作ってくれていつもありがとう、全部食べるよ。ごめんね」と理解してくれるのではないのでしょうか？

我が子の発言にイライラしますが、毎日生活していれば、楽しい時ばかりではありません。そういった素直な感情を、丸ごと、そのまま受け入れてあげて、イライラした気持ちや、悲しい気持ちを共有してあげると、自分で自分の発言の問題点に気づいていくでしょう。娘がネガティブな発言をしたとき、それを否定し受け入れないでいると、自己防衛本能を発揮しウソをつくようになります。母と娘で、本音で言い合えるような関係を築いていくことが大事ですね。

PROFILE

■渡辺貴斗 TAKATO WATANABE

1968年4月20日生まれ。7歳から父である館長から空手の手ほどきを受ける。児童心理学や成功哲学を研究して子どもたちの「心をつくる」指導法に切り替え、2013年全少5名入賞、2014年・2015年と2年連続で7名入賞、2016年5名入賞、2017年9名入賞させ、全国最多入賞数の記録更新中。道場経営でも、一道場で350名を超える大躍進を続ける。



日本空手道鴻志会空手道場養正館／静岡県沼津市本田町11-12

Column

錬成大会 養正館 全国初制覇！

7月29日、日本武道館で「全日本少年少女武道錬成大会」が開催されました。錬成大会は、形も組手もできないと勝てませんので、どちらもバランスよく稽古に取り組んでもらうために、毎年出場しています。

今年は養正館から8チームが形予選を通過し、2チームが上位入賞しました。2009年に初めて出場してから9年目にして、今回初めて優勝することができました。全少直前にこのタイミングで出場することで、全少にも良い効果をあらわしています。



- 1・2年の部 優秀賞（1位） 鴻志会養正館A
(安齋みな花・中島暖太・林颯希・阿部心春)
- 1・2年の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館B
(下山陽音・吉塚樹愛・三井詠一郎)
- 3・4年の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館A
(勝又蒼唯・永井皇羽・松本颯哉・芹澤連二)
- 3・4年の部 敢闘賞（3位） 鴻志会養正館B
(大河稜旺・公門里孔・長島心華・斉藤真翔)
- 5・6年の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館A
(江藤風沙・芹澤理一・熊谷駿・中原健太)
- 5・6年の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館B
(倉岡穂乃花・水口温久・大河美夕・阿部日葵)
- 5・6年の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館C
(櫻井香実・長島涼華・相磯響・榊原歩乃華)
- 中学生の部 努力賞（5位） 鴻志会養正館A
(川人つぐみ・大川杏哲・勝又颯太・江藤暖弥)



左写真：小学1・2年生の部／優秀賞(左より、中島暖太・林颯希・阿部心春・安齋みな花)

右写真：小学3・4年生の部／敢闘賞(左より、公門里孔・斉藤真翔・大河稜旺・長島心華)